

感染症患者発生情報（週報）

埼玉県内情報 2023 年 第 21 週（5月22日~5月28日）

<全数把握対象疾患の患者情報>

一類及び二類（結核を除く）感染症	報告なし
三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症	3 人 類型 患者 2 人、 無症状病原体保有者 1 人 血清型 O157 2 人、O26 1 人
四類感染症 レジオネラ症	3 人 病型 肺炎型 3 人
五類感染症 アメーバ赤痢	1 人 病型 腸管アメーバ症
後天性免疫不全症候群	2 人 病型 AIDS 1 人、 無症状病原体保有者 1 人
侵襲性肺炎球菌感染症	3 人
梅毒	14 人 病型 早期顕症 期 4 人、 早期顕症 期 6 人、 無症状病原体保有者 4 人
百日咳	3 人 年齢階級 1 歳 2 人、3 歳 1 人

<定点把握対象疾患の患者情報>

小児科及び内科定点把握対象疾患では、**新型コロナウイルス感染症**の定点当たり報告数(4.42 4.29: 図 1)は前週と同水準であった。保健所別では、南部(8.13)、幸手(6.57)保健所管内からの報告が多い。**インフルエンザ**(2.17 2.00: 図 2)の定点当たり報告数は、前週と同水準であった。保健所別では、熊谷(4.85)、本庄(4.29)、狭山(4.20)保健所管内からの報告が多い。**RS ウイルス感染症**(0.75 1.21 1.72: 図 3)の定点当たり報告数は、第 19 週以降、増加傾向が続いている。保健所別では、幸手(4.00)保健所管内からの報告が多い。年齢階級別では、1 歳以下の報告が多く、全体の 58%を占めている。**咽頭結膜熱**(0.51 0.90: 図 4)の定点当たり報告数は、前週より増加し、過去 4 年の同時期と比較して、多い状況である。

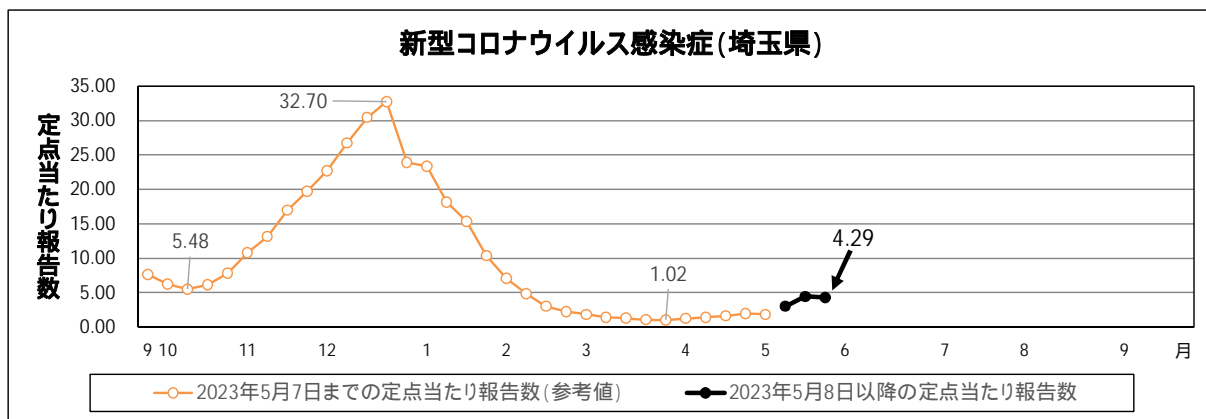
眼科定点報告疾患では、**急性出血性結膜炎** 1 人、**流行性角結膜炎** 10 人の報告があった。基幹定点報告疾患では、**細菌性髄膜炎** 2 人、**無菌性髄膜炎** 1 人、**インフルエンザ(入院)** 1 人の報告があった。

全国の感染症発生動向に関する情報は、国立感染症研究所の感染症疫学センターホームページ(URL:

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>)で御覧になれます。

< 新型コロナウイルス感染症発生状況（第 21 週） - 小児科定点・内科定点からの報告 - >

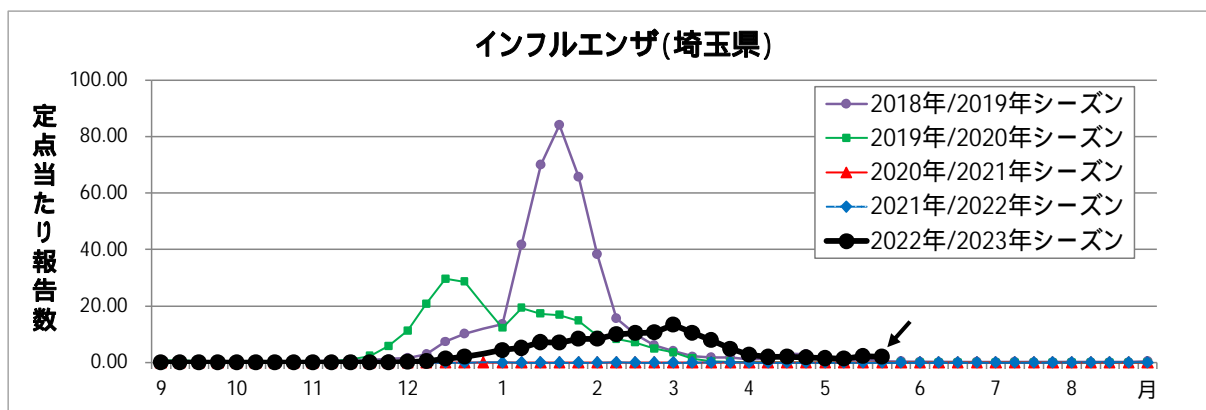
図 1 定点当たり報告数の推移



2022年9月26日から2023年5月7日までの全数報告のデータを元に定点当たり報告数を推計し算出しました。

< インフルエンザ流行情報（第 21 週） - 小児科定点・内科定点からの報告 - >

図 2 定点当たり報告数の推移



感染症発生状況(全数把握対象疾患)
(第21週)

(2023年5月30日 16:30集計)

	今週 届出	累 計		今週 届出	累 計
一類感染症					
エボラ出血熱			ペスト		
クリミア・コンゴ出血熱			マールブルグ病		
痘そう			ラッサ熱		
南米出血熱					
二類感染症					
急性灰白髄炎			中東呼吸器症候群(MERS)		
結核*1	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)		
ジフテリア			鳥インフルエンザ(H7N9)		
重症急性呼吸器症候群(SARS)					
三類感染症					
コレラ			腸チフス		1
細菌性赤痢		3	パラチフス		1
腸管出血性大腸菌感染症	3	29			
四類感染症					
E型肝炎		20	東部ウマ脳炎		
ウエストナイル熱			鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)		
A型肝炎		3	ニパウイルス感染症		
エキノкокクス症			日本紅斑熱		
黄熱			日本脳炎		
オウム病			ハンタウイルス肺症候群		
オムスク出血熱			Bウイルス病		
回帰熱			鼻疽		
キャサヌル森林病			ブルセラ症		
Q熱			ベネズエラウマ脳炎		
狂犬病			ヘンドラウイルス感染症		
コクシジオイデス症			発しんチフス		
エムポックス		4	ボツリヌス症		
ジカウイルス感染症			マラリア		
重症熱性血小板減少症候群			野兔病		
腎症候性出血熱			ライム病		
西部ウマ脳炎			リッサウイルス感染症		
ダニ媒介脳炎			リフトバレー熱		
炭疽			類鼻疽		
チクングニア熱			レジオネラ症	3	21
つつが虫病		2	レプトスピラ症		
デング熱		2	ロッキー山紅斑熱		
五類感染症					
アメーバ赤痢	1	13	侵襲性肺炎球菌感染症	3	29
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)		4	水痘(入院例に限る)		4
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症		26	先天性風しん症候群		
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)		3	梅毒	14	182
急性脳炎		15	播種性クリプトкокクス症		3
クリプトスポリジウム症			破傷風		2
クロイツフェルト・ヤコブ病		4	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		
劇症型溶血性レンサ球菌感染症		13	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		
後天性免疫不全症候群	2	14	百日咳	3	15
ジアルジア症		2	風しん		1
侵襲性インフルエンザ菌感染症		3	麻しん		
侵襲性髄膜炎菌感染症			薬剤耐性アシネトバクター感染症		

累計は診断日で集計

*1 結核は月単位で集計、別に掲載します。

感染症発生状況(定点把握対象疾患)

報告患者数

保健所別

(2023年第21週

5月22日~5月28日)

保 健 所	報告数 定点当たり	インフルエンザ	新型コロナウイルス感染症	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 #2	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 #3	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	インフルエンザ(入院)
		#1	#1	#1	#1	#1	#1	#1	#1	#1	#1	#1	#1	#1	#1	#1	#1	#1	#1	#1	#1
全 県	報告数 2.00	519	1,115	281	147	273	1,626	41	76	6	66	108	17	1	10	2	1	-	-	-	1
朝 霞	報告数 2.43	56	129	22	9	12	193	2	2	-	4	8	-	-	-	1	-	-	-	-	-
鴻 巣	報告数 0.47	9	96	31	6	11	140	2	4	-	6	5	3	-	1	*	*	*	*	*	*
東 松 山	報告数 3.13	25	17	-	4	1	42	-	2	-	3	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-
秩 父	報告数 2.40	12	4	2	4	1	-	1	-	-	-	-	-	*	*	-	-	-	-	-	-
本 庄	報告数 4.29	30	29	1	3	1	3	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊 谷	報告数 4.85	63	50	3	5	9	76	1	7	-	4	7	1	-	-	-	-	-	-	-	-
加 須	報告数 0.60	6	28	5	8	-	1	-	2	-	-	1	1	-	2	-	-	-	-	-	-
春 日 部	報告数 2.80	28	53	7	15	21	156	1	-	-	8	7	-	-	1	*	*	*	*	*	*
幸 手	報告数 1.64	23	92	36	15	22	40	1	14	-	-	3	-	-	-	*	*	*	*	*	*
坂 戸	報告数 1.00	10	55	-	-	-	67	-	1	-	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
草 加	報告数 1.42	27	90	34	23	12	89	1	8	-	4	4	-	-	-	*	*	*	*	*	*
狭 山	報告数 4.20	105	128	23	20	50	158	2	13	1	5	24	-	1	3	-	-	-	-	-	-
南 部	報告数 2.25	18	65	9	2	28	76	7	4	-	4	2	-	-	-	*	*	*	*	*	*
川 越 市	報告数 0.50	7	42	4	-	3	55	-	2	2	2	2	2	-	-	*	*	*	*	*	*
越 谷 市	報告数 0.38	5	73	8	10	13	79	2	3	-	7	17	1	-	-	-	-	-	-	-	1
川 口 市	報告数 1.84	35	61	32	8	49	134	9	6	3	3	8	2	-	1	-	-	-	-	-	-
さいたま市	報告数 1.40	60	103	64	15	40	317	12	8	-	14	15	5	-	2	1	-	-	-	-	-
	定点当たり	1.40	2.40	2.29	0.54	1.43	11.32	0.43	0.29	-	0.50	0.54	0.18	-	0.22	1.00	-	-	-	-	-

(- : 0.00)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

5月 30日

15:15 集計

感染症発生状況(定点把握対象疾患)

報告患者数

年齢別

(2023年第21週 5月22日~5月28日)

	合計	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80~
インフルエンザ #1	519	-	3	11	18	23	29	36	51	56	47	41	116	25	11	18	17	10	3	3	1
新型コロナウイルス感染症	1,115	3	9	20	13	17	12	10	20	26	15	16	79	80	165	123	140	136	97	89	45
	合計	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20~						
RSウイルス感染症	281	38	48	79	30	51	16	10	6	1	1	-	-	-	1						
咽頭結膜熱	147	-	11	59	27	15	13	7	4	5	-	2	1	-	3						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	273	-	-	13	16	34	50	35	39	28	18	12	21	2	5						
感染性胃腸炎	1,626	15	83	221	179	217	226	198	128	89	68	32	89	14	67						
水痘	41	-	4	1	-	3	5	1	6	5	3	3	10	-	-						
手足口病	76	-	3	20	21	9	10	6	2	-	2	1	1	-	1						
伝染性紅斑	6	-	1	-	1	-	1	1	1	1	-	-	-	-	-						
突発性発しん	66	-	14	39	9	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-						
ヘルパンギーナ	108	2	4	23	20	14	19	11	5	4	2	3	1	-	-						
流行性耳下腺炎	17	-	-	-	-	3	4	-	4	1	1	2	2	-	-						
	合計	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70~	
急性出血性結膜炎	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	3	3	1	1	-	-
	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70~				
細菌性髄膜炎 #2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-				
無菌性髄膜炎	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-				
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
クラミジア肺炎 #3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
ロタウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
インフルエンザ(入院)	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-				

表中の数値は各定点からの報告数 (- : 0)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

全国・関東情報

第19週 (5月8日～5月14日)

令和5年5月31日

<全国情報>

インフルエンザ: インフルエンザの定点当たり報告数は3週連続で減少したが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は新潟県(5.64)、山形県(4.30)、宮城県(3.28)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は64例と前週と比較して減少した。都道府県別では28都道府県から報告があり、年齢別では0歳(5例)、1～9歳(32例)、10代(2例)、40代(1例)、60代(4例)、70代(5例)、80歳以上(15例)であった。新型コロナウイルス感染症の都道府県別の上位3位は沖縄県(6.07)、石川県(4.90)、北海道(4.36)である。

小児科定点報告疾患(主なもの): RSウイルス感染症の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は和歌山県(4.17)、大阪府(2.85)、奈良県(2.65)である。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は富山県(1.00)、福井県(0.96)、鹿児島県(0.96)、福岡県(0.84)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は福岡県(2.69)、富山県(2.34)、鳥取県(2.32)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は大分県(11.56)、鳥取県(8.63)、富山県(8.45)である。手足口病の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は沖縄県(2.58)、宮崎県(0.61)、石川県(0.52)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位2位は三重県(0.07)、宮城県(0.06)、福島県(0.06)、奈良県(0.06)である。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は佐賀県(3.57)、宮崎県(2.17)、長崎県(1.48)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は福井県(0.12)、鹿児島県(0.11)、沖縄県(0.10)である。

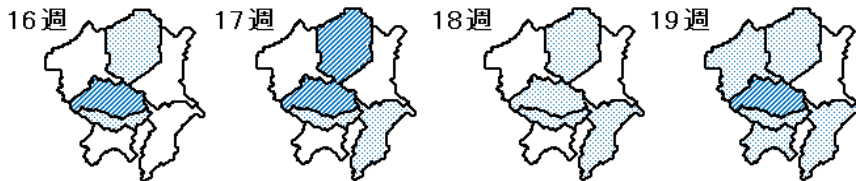
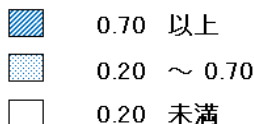
基幹定点報告疾患: マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は青森県(0.83)、大分県(0.27)、富山県(0.20)、石川県(0.20)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は横ばいであった。3都道府県から3例報告があり、年齢別では0歳(2例)、5～9歳(1例)であった。

Infectious Diseases Weekly Report Japan 2023年 第19週(5月8日～5月14日): 通巻第25巻 第19号 より

<関東情報>

RSウイルス感染症の定点当たり報告数は、埼玉県(0.75)からの報告が多い。

RSウイルス感染症



2023年 19週

		全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	報告数	6,648	1,659	67	71	282	335	237	397	270
	定点当たり	1.36	1.09	0.56	0.93	3.24	1.29	1.14	0.96	0.75
新型コロナウイルス感染症	報告数	12,922	3,991	325	201	210	783	640	994	838
	定点当たり	2.63	2.62	2.71	2.64	2.41	3.02	3.08	2.40	2.33
RSウイルス感染症	報告数	3,243	387	12	16	20	122	65	95	57
	定点当たり	1.04	0.40	0.16	0.33	0.37	0.75	0.50	0.36	0.25
咽頭結膜熱	報告数	1,443	412	36	6	26	91	63	122	68
	定点当たり	0.46	0.43	0.48	0.13	0.48	0.56	0.48	0.47	0.30
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	3,152	914	85	29	22	150	125	293	210
	定点当たり	1.01	0.95	1.13	0.60	0.41	0.92	0.96	1.12	0.92
感染性胃腸炎	報告数	16,528	4,927	266	70	196	1,129	732	1,532	1,002
	定点当たり	5.28	5.13	3.55	1.46	3.63	6.93	5.63	5.87	4.38
水痘	報告数	344	116	10	1	4	24	5	49	23
	定点当たり	0.11	0.12	0.13	0.02	0.07	0.15	0.04	0.19	0.10
手足口病	報告数	576	175	28	1	7	46	18	44	31
	定点当たり	0.18	0.18	0.37	0.02	0.13	0.28	0.14	0.17	0.14
伝染性紅斑	報告数	62	21	1	-	-	3	3	8	6
	定点当たり	0.02	0.02	0.01	-	-	0.02	0.02	0.03	0.03
突発性発しん	報告数	1,143	386	17	17	36	74	47	114	81
	定点当たり	0.36	0.40	0.23	0.35	0.67	0.45	0.36	0.44	0.35
ヘルパンギーナ	報告数	1,034	148	8	12	-	11	26	64	27
	定点当たり	0.33	0.15	0.11	0.25	-	0.07	0.20	0.25	0.12
流行性耳下腺炎	報告数	122	50	-	3	3	10	10	9	15
	定点当たり	0.04	0.05	-	0.06	0.06	0.06	0.08	0.03	0.07
急性出血性結膜炎	報告数	12	6	-	-	1	1	-	2	2
	定点当たり	0.02	0.03	-	-	0.07	0.02	-	0.05	0.04
流行性角結膜炎	報告数	274	115	21	3	10	12	16	10	43
	定点当たり	0.39	0.55	1.24	0.25	0.71	0.29	0.46	0.26	0.86
細菌性髄膜炎 #2	報告数	6	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.01	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	報告数	7	2	-	1	-	1	-	-	-
	定点当たり	0.01	0.02	-	0.14	-	0.09	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	報告数	20	2	1	-	-	-	-	1	-
	定点当たり	0.04	0.02	0.08	-	-	-	-	0.04	-
クラミジア肺炎 #3	報告数	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	3	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.01	-	-	-	-	-	-	-	-

#1 インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(--0.00)

感染症発生動向調査
2023年

- ▶ 感染症の流行状況 2023年 第1週
- ▶ 感染症の流行状況 2023年 第2週
- ▶ 感染症の流行状況 2023年 第3週
- ▶ 感染症の流行状況 2023年 第4週
- ▶ 感染症の流行状況 2023年 第5週
- ▶ 感染症の流行状況 2023年 第6週
- ▶ 感染症の流行状況 2023年 第7週
- ▶ 感染症の流行状況 2023年 第8週
- ▶ 感染症の流行状況 2023年 第9週
- ▶ 感染症の流行状況 2023年 第10週
- ▶ 感染症の流行状況 2023年 第11週
- ▶ 感染症の流行状況 2023年 第12週
- ▶ 感染症の流行状況 2023年 第13週
- ▶ 感染症の流行状況 2023年 第14週
- ▶ 感染症の流行状況 2023年 第15週
- ▶ 感染症の流行状況 2023年 第16週
- ▶ 感染症の流行状況 2023年 第17週
- ▶ 感染症発生動向調査 2022年
- ▶ 感染症発生動向調査 2021年
- ▶ 感染症の流行状況 2023年 第18週
- ▶ 感染症の流行状況 2023年 第19週
- ▶ 感染症の流行状況 2023年 第20週

感染症の流行状況 2023年 第21週

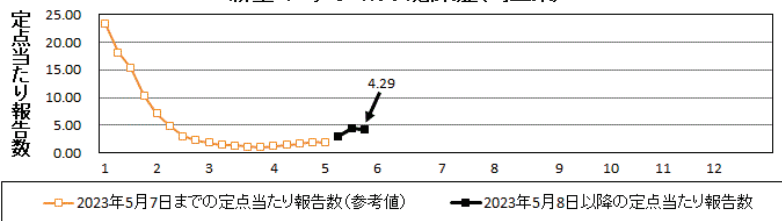
2023年第21週（5月22日～5月28日）の要点 令和5年5月31日

新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数は、前週と同水準でした。

外出後の手洗いとともに、十分な休養をとるよう心がけてください。また、お子さんの体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早めに受診してください。

- [COVID-19\(新型コロナウイルス感染症\)](#) に関する情報の掲載ページへ

新型コロナウイルス感染症(埼玉県)



感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
インフルエンザ	→	★	手足口病	↑	★
新型コロナウイルス感染症	→	—	伝染性紅斑(りんご病)	→	★
RSウイルス感染症	↑	★★	突発性発しん	→	★
咽頭結膜熱(プール熱)	↑	★	ヘルパンギーナ	↑	★
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↑	★	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	→	★
感染性胃腸炎	→	★★	急性出血性結膜炎	→	★
水痘(みずぼうそう)	↑	★	流行性角結膜炎	→	★

*1.推移、流行状況は、県内全域の傾向です。*2.推移は2週間前からの傾向を示します。(→:増減無し、↑:増加、↓:減少) *3.流行状況は今週の流行を示します。(小さい→★、★★、★★★→大きい)

疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。

全国の感染症発生動向状況については、国立感染症研究所のホームページ「[感染症疫学センター](#)」でご覧になれます。

この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。



埼玉県のマスコット コバトン